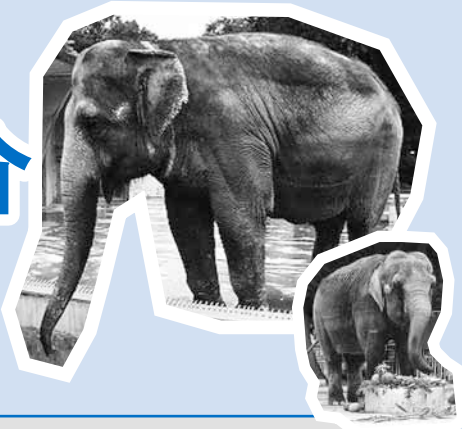


円山動物園で新たにゾウを飼うべきか 寄せられたご意見を紹介



今年5月から8月にかけて、円山動物園にゾウを導入すべきか、市民の皆さんにさまざまな方法で意見を寄せていただきました。このページではその結果を紹介します。このページに関するお問い合わせは、円山動物園 ☎621-1426

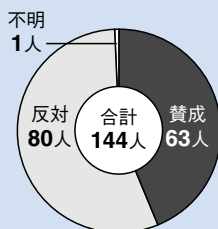
これまでに9,000件を超えるご意見をいただきました。ありがとうございました!

広報さっぽろを読んで意見をくれた方

回答の方法 本誌5月号を読み、自由記載で回答

意見の傾向

反対意見が賛成意見を上回りました。反対の理由には「経費を別な施策に使うべき」というものが多く挙げられました。



〈主な意見〉 ●=賛成 ▲=反対

- 飼育には賛成だが、経費は基金を立ち上げて賄うべき
- ▲ 現在ある獣舎の老朽化対策などに経費を使うべき
- ▲ ゾウがいなくても十分に誇れる動物園である など

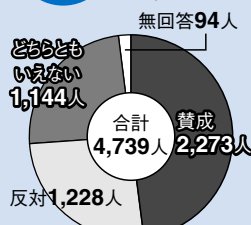
【回答者の年代】 19歳以下5人、20代~30代8人、40代~50代18人、60歳以上16人、不明97人

市民アンケートに答えてくれた方

回答の方法 無作為に選ばれた市民が、選択式のアンケートにより回答

意見の傾向

賛成意見が約半数を占めました。「どちらともいえない」という意見も約24%あり、判断に迷う方も多かったと考えられます。



〈主な意見(複数回答)〉

- 子どもたちに驚きと感動を与えられる(2,482件)
- ゾウは動物園になくはない動物(1,135件)
- ▲ 費用が掛かり過ぎる(1,592件) など

【回答者の年代】 19歳以下66人、20代~30代1,157人、40代~50代1,625人、60歳以上1,872人、不明19人

子ども議会に参加している子どもたち

回答の方法 公募で選ばれた子ども議員13人が意見交換会を実施

意見の傾向

「経費」「展示方法」「子どもに与える効果」という観点で討議を行いました。全体としては、飼育に前向きな意見が多く出されました。



〈主な意見〉

- 来園者が増える工夫をし、経費を賄えれば導入したい
- 繁殖の意義などを考えると、年間2,000万円の経費も高くない
- ▲ 単に飼育するだけではダメ。教育活動やイベントで盛り上げる必要がある など

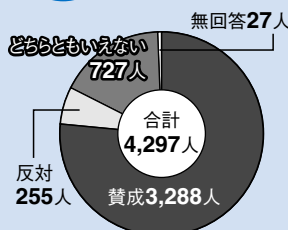
【子ども議員の年代】 小学生5人、中学生5人、高校生3人

児童会館を利用している子どもたち

回答の方法 児童会館・ミニ児童会館で配布したアンケート用紙で回答

意見の傾向

ゾウを見たいという回答が大半を占めました。子どもたちは、ゾウの生態に興味・関心を示しているようです。



〈主な意見〉

- テレビでは見たことがあるが、実際には見ていないので
- 赤ちゃんのゾウを見たい
- ▲ またゾウが死んでしまうと怖い など

【回答者の年代】 小学1年~3年3,264人、4年~6年835人、中学生72人、不明126人

今後も調査を続けます

皆さんから寄せられた意見に大きな偏りがなかったことなどから、市は、さらなる調査が必要と判断し、ゾウ原産国の視察を行うこととしました。今後、費用や飼育方法などを、あらゆる面から検証し、導入の可否を決定します。

今後のスケジュール

来年1月~

東南アジア諸国に行きゾウ導入に関する調査や協議を開始。

平成25年度

交渉の相手国を選定し、導入条件などの話し合いを進める。また、先進国でゾウ舎の建築に関する詳しい調査を始める。

平成26年度

導入の可否を最終判断。

